

東京都立つばさ総合高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高等学校 言語文化（第一学習社） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】・本文中に登場する、我が国の言語文化に見られる特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。

【思考力、判断力、表現力等】・古典を読み、考えたことを他者に伝えるために適切に表現し、共有することで国語的思考力、判断力、表現力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】・積極的に古文や漢文に触れ、自らの知識や技能、思考力、判断力、表現力を伸長させようとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・本文中に登場する、我が国の言語文化に見られる特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	・古典を読み、考えたことを他者に伝えるために適切に表現し、共有することで国語的思考力、判断力、表現力を養う。	・積極的に古文や漢文に触れ、自らの知識や技能、思考力、判断力、表現力を伸長させようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	古文の学習 【知識及び技能】 ・言葉に文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化の特質について文法的な側面から理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつ。	・指導事項 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・一人1台端末の活用	○		○	【知識及び技能】 ・言葉の持つ文化の継承、発展、創造を支える働きについて理解している。 ・我が国の言語文化の特性について理解している。	○	○	○	5
	児のそら寝 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化の語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れ親しむとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を正確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、互いに話のおもしろさを伝え合う。	・指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、学習し、文語のきまりを理解する。 ・一人1台端末の活用	○		○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に見られる特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れ親しむとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。	○	○	○	8

2 学 期	伊勢物語	・指導事項 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「芥川」では絵画資料と、「筒井筒」では『大和物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に見られる特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている	○	○	○	8
	徒然草	・指導事項 ・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」を活用し、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・一人1台端末の活用	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に見られる特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合う。	○	○	○	12
	夢十夜 第1夜（夏目漱石）	・指導事項…「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・一人1台端末の活用	○	○		【知識及び技能】 ・本文中に登場する常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明しようとしている。	○	○	○	13

3 学 期	訓読に親しむ	【知識及び技能】 - 我が国の言語文化に見られる特徴的な語句の量を増し、語感を磨き、語彙を豊かにする。 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 - 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 - これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。	- 指導事項 - 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 - 漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 - 漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 - 故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 訓読のきまりを理解する。 - 一人1台端末の活用	○ ○	【知識及び技能】 - 我が国の言語文化に見られる特徴的な語句の量を増し、語感を磨き、語彙を豊かにする。 - 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 - 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 - これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。	○ ○ ○	13
	狐借虎威 蛇足	【知識及び技能】 - 我が国の言語文化に見られる特徴的な語句の量を増し、語感を磨き、語彙を豊かにする。 - 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめ、発表する。	- 指導事項 - 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 - 文章の種類を踏まえて、たとえば話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 - 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 - 作品の歴史的・文化的背景を理解する。 - 訓読のきまりを理解する。 - 故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 - 一人1台端末の活用	○ ○ ○	【知識及び技能】 - 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 - 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめ、発表しようとしている。	○ ○ ○	13
		合計					72